

〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

12月報

インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ 報告数は0件（前月比-、前年同月比-）でした。令和3年は5月以降患者発生なしが続いています。

小児科定点

（全体傾向）

報告数は3,780件（前月比1.23、前年同月比1.06）で、前月に比べ増加していました。RSウイルス感染症、咽頭結膜熱の増加が目立ち、A群溶連菌咽頭炎、感染性胃腸炎も増加傾向でした。詳細は疾患別傾向をご覧ください。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症 : 報告数は355件（前月比3.0、前年同月比7.7）でした。秋の患者数は抑えられていましたが、12月は増加に転じています。年明け以降も流行持続が予想されますので、監視が必要です。2歳以下で全体の8割(294/355)を占めます。菊池(17.80)、熊本(13.19)から多く報告がありました。
2. 咽頭結膜熱 : 報告数は65件（前月比3.3、前年同月比0.6）でした。12月は増加していますが、直近2年間に比べると低水準です。年齢別では1歳が最多で全体の約半数(35/65)を占めました。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 報告数は84件（前月比1.8、前年同月比0.6）でした。令和3年は年間を通して患者数が前年を下回りました。御船(4.67)からの報告が多くなっています。
4. 感染性胃腸炎 : 報告数は2,358件（前月比1.8、前年同月比0.9）でした。9月以降患者数が増加傾向で、12月は前年並みの水準です。1歳をピークに全ての年齢層で患者が発生しています。菊池(85.80)、有明(70.80)から多く報告がありました。
5. 水痘 : 報告数は20件（前月比1.3、前年同月比0.4）でした。年間を通して患者数は前年をほぼ下回りました。
6. 手足口病 : 報告数は510件（前月比0.5、前年同月比2.6）でした。令和3年は9月に流行のピークがあり、以後流行は収束しつつあります。1歳をピークに、1~2歳で約7割(360/510)を占めました。宇城(21.25)からやや多く報告されました。
7. 伝染性紅斑 : 報告数は3件（前月比1.0、前年同月比1.0）でした。患者数の変動はありません。
8. 突発性発疹 : 報告数は125件（前月比0.8、前年同月比0.8）で、著しい変動はありません。
9. ヘルパンギーナ : 報告数は96件（前月比0.4、前年同月比6.0）で、前月より減少しています。令和3年は10月に流行のピークがありましたが、直近2年に比べ流行は小規模でした。菊池(4.80)、天草(4.50)からやや多く報告されました。
10. 流行性耳下腺炎 : 報告数は6件（前月比0.6、前年同月比0.8）でした。令和3年の患者数は全体的に低水準でした。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎 : 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎 : 報告数19件（前月比:1.5、前年同月比:0.8）で、前月よりも増加しています。熊本18件、有明1件の報告です。年齢別では20~39歳にピークがあり、この年齢層に集中しています。

STD定点

※平成 25 年 1 月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が 13 医療機関から 16 医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症：

報告数63件（前月比1.2、前年同月比1.2）でした。男女別は、男性41件、女22件でした。年齢別では、男女とも20代をピークに男性は10代後半から50代まで、女性は10代後半から30代に集中していました。地区別は、熊本市52件、男性36件、女性16件、次いで御船が女性のみ4件、宇城が男性のみ3件、八代が男性2件、女性1件、有明が女性のみ1件でした。

2. 性器ヘルペスウイルス感染症：

報告数21件（前月比0.8、前年同月比1.0）でした。男女別は、男13件、女性8件でした。年齢別では20代に5件、30代に6件、40代に6件、50代1件、60代に1件、70代に2件と幅広く認めました。地区別は、熊本15件、菊池で女性のみ3件、八代で女性のみ2件、御船で女性のみ1件でした。

3. 尖圭コンジローマ：

報告数は6件（前月比1.2、前年同月比1.0）でした。すべて男性でした。年齢別では、20代に4件、30代に1件、50代に1件でした。地区別は、全例、熊本市でした。

4. 淋菌感染症：

報告数は26件（前月比0.9、前年同月比1.4）でした。男女別では男性23件、女性3件でした。年齢別では10代後半が2件（男性のみ）、20代が15件、30代が2件、40代が4件（男性のみ）、50代が3件でした。地区別は、熊本21件、八代が2件、御船、有明、宇城がそれぞれ1件でした。

基幹定点

（月報分）

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：

報告数20件（前月比0.9、前年同月比1.4）でした。11月より増加傾向です。14件（70%）が70歳以上でした。乳幼児では0歳が1件、1-4歳が1件です。阿蘇、有明、人吉（定点あたり各4.0、3.0、2.0）が多くなっています。

2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：

報告数1件（前月比0.5、前年同月比0.3）でした。

3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：

報告数0件（前月比ー、前年同月比ー）でした。

（週報分）

1. 細菌性髄膜炎： 報告数0件（前月比ー、前年同月比ー）でした。

2. 無菌性髄膜炎： 報告数0件（前月比ー、前年同月比ー）でした。

3. マイコプラズマ肺炎： 報告数1件（前月比1.0、前年同月比ー）でした。

4. クラミジア肺炎： 報告数0件（前月比ー、前年同月比ー）でした。

5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：

報告数1件（前月比ー、前年同月比ー）でした。

届け出対象感染症

1類感染症	： 報告はありませんでした。	
2類感染症	： 結核	9件
3類感染症	： 腸管出血性大腸菌感染症	2件
4類感染症	： つつが虫病	3件
	レジオネラ症	1件
5類感染症	： カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1件
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1件
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1件
	後天性免疫不全症候群	2件
	侵襲性肺炎球菌感染症	2件
	梅毒	6件
	百日咳	4件
新型インフルエンザ等感染症		
	新型コロナウイルス感染症	2件